

# アユ大きく育てて

## 西都 一ツ瀬川に稚魚放流

ユの稚魚を放流した。同市のほか、同町や宮崎市などから親子連れら約100人が参加

河川環境の大切さを学んでもらおうと、西都市や新富町などでつくる一ツ瀬川濁水対策推進協議会（会長・橋田和実市長）と一ツ瀬川漁協（田中寛組合長）は26日、同市の山角橋近くの同川にアユの稚魚を放流した。同市のほか、同町や宮崎市などから親子連れら約100人が参加

26.4.29



し、川を上る稚アユを見送った。

田中組合長が「河川環境が悪化してアユが育ちにくくなっている。皆さんも川をきれいにするのに協力してほしい」とあいさつした。今回は

1月にふ化して、体長9センチまで成長した稚アユ2万匹

一ツ瀬川に稚アユを放流する子ども達

（約200キ）を準備。参加者らはトラックで河川敷まで運搬された稚魚をバケツに入れ、川べりに運んで次々と放流。参加した穂北小4年の黒木涼夏さん（9）は「初めてだったけどうまく放流できた。アユは大好きなので大きくなってくれたらうれしい」と話していた。

同漁協は4月中に一ツ瀬川流域に計1・6万匹の稚アユを放流することになっている。